

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-1		事業名	サイクリングロードモザイクアート事業
担当	厚別区市民部厚別南まちづくりセンター 佐藤 891-1666			
全 体 計 画				
事業内容	厚別区内を走るサイクリングロード内にあるトンネル(9箇所)には、落書きが多く書かれ、美観を損ねており、防犯上も好ましい状態とはいえない。落書きを消しても、その上から落書きされ、まさに「いたちごっこ」の状態だった。 そこで、トンネル内の落書きを防ぐため、タイル等によるモザイクアートで壁面を飾り、地域の景観を保ちつつ、犯罪を誘発させない環境をつくることとした。 壁画作成にあたっては、北星学園大学の学生や付近の小学生とPTA、地域住民が参加し、ウォーキングでイメージを高め、ワークショップで意見・アイデアを出し合い、壁画のデザインを決定する。そして全員参加により壁画を完成させていく。		<年度別の事業内容>	
			各年度1面ずつ壁画を完成させていく。 21年度以降の対象トンネルは未定。	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)北壁5.8mにモザイクアートを作成。 市費決算 735,143円		しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)南壁5.8mにモザイクアートを作成。 市費決算 715,050円	
規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	陽だまりロード内のトンネル(1か所:場所未定)にモザイクアートを作成予定。 市費予算 1,000,000円			

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-3-1			事業名	サイクリングロードモザイクアート事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
(サイクリングロードのトンネル内)アート壁面(累計)	1面	2面	3面	4面	5面	5面	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 デザイン作成に向けて、地域住民、大谷地東小学生、北星学園大学生らが参加。 実際の壁画作成にあたっては、地域住民等が参加。 大谷地東小学校は、壁画作成を総合学習の一環として取り上げる。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 北星学園大学から19年度～20年度にそれぞれ材料費等実費200万円の資金協力。 [人材協力] 地元在住の芸術家 原田ミドー氏がアートディレクターとして参加した。 [情報協力] - [その他の協力] -</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 事前に、地域のまちづくり会議で実施を決議し、地元への周知を行うとともに、小学校での子どもたちへの参加を依頼する。</p>							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
トンネル内にモザイクアートの壁画を作成することにより、落書き防止を行い、防犯効果をあげるとともに、景観を保持する。							
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
厚別区内にあるサイクリングロードのトンネル全9個所にモザイクアートを作成していく。							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-3-1		事業名	サイクリングロードモザイクアート事業		
<b>事業費の推移</b>							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000		
予算	事業費	700	1,000	1,000	-	2,700	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	700	1,000	1,000		2,700		
実績	事業費	735	715	-	-	1,450	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	735	715			1,450		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				61.3%	
<b>計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)</b>							
(全体)							
[19年度・20年度] 北星学園大学から資金援助があり、市費の支出を抑えることができたため。							